


分野	52	水資源	通番 124
施策	521	水資源の保全	
5年後の目標		企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。	

概要					
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目	決算額(円)	担当課
	地下水の保全事業		会計 款 項 目	—	水道施設課
			公営企業会計		
事業の概要					
地下水を将来にわたり安定した水量で使用していくため、定期的な取水設備の更新と紫外線浄水処理施設の整備を行います。					

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	地下水位測定継続				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	取水井戸の 水位測定の実施 《参考》 取水井戸5本の平均静水位 8.05m(平成26年度)	目 標	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続
		実 績	取水井の水位測定	取水井の水位測定	取水井の水位測定	取水井の水位測定	取水井の水位測定
	<ul style="list-style-type: none"> 取水井戸6本について、水位測定を毎月行いました。 取水井戸6本の年間平均静水位 7.53m 取水ポンプの入替工事を行いました。 紫外線浄水処理施設の点検整備を行いました。 					取水ポンプ入替工事	
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 取水井戸の水位測定を毎月行うことで、地下水位の状況を正確に把握し、取水井戸の適切な運転管理が可能となりました。 取水ポンプの入替工事を適宜行うことで、本市水道水の供給に必要な揚水量を維持することができました。 紫外線浄水処理施設を設置し、点検整備を行うことで、耐塩素性病原菌による地下水汚染の発生にも対応することができ、水道原水となる地下水の継続利用が可能となりました。 	211
	課題等	本市における水道水の安定供給には、水道原水となる地下水を汲み上げるための取水井戸6本を安定的に稼働させる必要があります。			

次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 水道水の安定供給に必要な揚水量を確保するために、取水井戸におけるポンプ設備の適宜更新及び浚渫(井戸内の清掃)を行います。 水道水の安全性を確保するために、取水井戸における地下水の水質管理を行います。